

つきたい力

- ・豊かな語彙力や読解力を含めた言語能力
- ・目的に応じて情報を収集・選択し、適切に発信する力

取組みの概要・ポイント

- ・小中学校9年間の図書・ICTを活用したカリキュラム作り
- ・学校図書館を活用した教科横断的な授業づくり

小中9年間情報活用能力系統表



具体的な取組みの内容

学校図書館を軸とした教科を横断した授業づくり

・教材研究

授業に関わる教職員【学年教師・モデル校担当教員(司書教諭)・読書支援員】を中心に教科研究部で教材研究を行う。

教科横断的に学習できるように年間計画組み立て、図書館活用が有効な単元を明確にする。

事前に必要な資料の収集・予約にもつながる。

・授業での学校図書館を利活用する3つの留意点

- ①発達段階に応じた目標の設定
- ②資料の冊数、内容の精選
- ③図書・タブレット等を活用する必然性のある課題設定

・教科横断的な授業

1年生 (生活・図工・国語)

「はってかさねて いきもの ランドをつくろう」

【生活】落ち葉やどんぐり、木の実を収集。

【国語】図鑑の使い方や話し方を学習。

【図工】画用紙、折り紙、落ち葉、木の实を使って、
お気に入りの生き物を表現した。

お気に入りの
生き物

ながいっぽがお気に入りなんだ。どんぐりをなんこもならべてみたよ。



5年生 (社会・総合的な学習の時間)

「これからの工業生産とわたしたち」

【総合】複数の資料から調べたい伝統工芸品を探し、班で一つに絞る。

【社会】伝統的な工業の様子、現状、魅力、優れている点について班で協力して調べ、まとめる。カードや思考ツールも活用して、根拠や理由とともに発表する。

本には
こう書
いてあ
るよ。

タブレット
でも調べ
みるなあ。



本に親しむ場づくり

【図書委員会の取組み】

「図書館は無量大」を目標に、図書館の飾りつけ、読み聞かせ、POP作り、クイズ作り、しおりコンテストやビブリオバトル等さまざまなイベントを実施した。



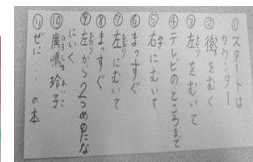
【給食と図書館のコラボコーナーの設置】

給食のメニューや季節の食材に関する本を展示。たけのこの皮や冬瓜等の実物を一緒に飾ることでより興味をひくことができた。



【おすすめの本へご案内】

ペアや班で協力して、おすすめの本に案内するカード作りにチャレンジ。シリーズ本を「①スタートはカウンター②後ろを向く。・・・⑩『銭・・・』」のように「右・左・上から〇段目・〇類の棚」等を使い短い言葉で記入。「プログラミングみたいで面白い」と言いながら楽しそうに取り組んでいた。小さく丸めてテープで止め筒に入れて完成。本選びに困った時に、おみくじのように引き、楽しみながら本に出会うことができています。



【にじいろ図書館の設置】

第二図書館を大改造。本棚の配置を変更し、分類ごとに並び替えたり、案内板を設置したりした。児童から名前を募集し、「にじいろ図書館」に決定。情報・学習センターとして活用するために、ネット環境や情報カード、思考ツール等、整備中である。



Before

After



取組みを通しての子どもの変容

・貸出冊数の増加 R4年度: 2万7372冊 (4月~12月) R5年度: 2万7961冊 (4月~12月)

本の紹介の時間を取ることで、友だちの紹介した本や読んでいる本に興味を持つようになった。授業において、タブレットで検索するだけでなく、本でも調べる児童が増えた。わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている児童が増加した。(7月 77% 12月79.4%)